



# 子ども達に引き継ぐ 日野川の源流と流域を守る会 設立15周年

ふるさと日野川の源流と流域の環境保全に取り組み、今年で設立 15 周年を迎える『日野川の源流と流域を守る会（以下、「源流の会」）』（会長・豊島良太鳥取大学学長）の総会が2月19日に西部総合事務所講堂で開催され、約150人が参加しました。



里山管理の重要性を提言する大住教授

いままです。  
その他に通常の活動として、森や川を守る活動（日野川の一斉清掃及び生き物調べ、外来種除去ボランティア及びわくわく自然体験）、歴史・文化、自然を学ぶ活動（自然環境とオオサンショウウオを守る体験活動、日野川源流探訪、奥大山古道を歩く）、上流域と下流域の交流推進（間伐などの森林整備体験交流及び県植樹祭参加、海岸清掃及び日野川河口・海岸の学習体験）と充実した内容を展開していきます。

## 日野川×里山

総会后、鳥取大学農学部生物資源環境学科の大住克博教授に『日野川と里山の生態系と管理』と題して講演いただきました。大住教授は、「日野川流域には里山林が多く存在しており、身近にありながら、里山林についてあまり意識していないのが現状ではないでしょうか。そのようなか、里山林は天然の林とは大きく異なったもので、ほとんどは人の利用により作られたコ

ナラ林でした。その利用が止まり、里山のコナラ林は不安定化し始めている。これを良い形で維持していくためには管理が必要ですが正解はなく、里山の保全に関して地域で意見を出し合い、管理技術の有効性を確かめながら取り組むことが大事。」と提言しました。  
源流の会は平成14年4月22日に設立され、美しい日野川を次世代に引き継いでいくため様々な活動をしてきました。今後は、更に関係団体と活動交流や連携・情報交換を行い、これからの源流と流域のあり方を提案し行動するため、次世代を担う子ども達の育成に力を入れながら継続して活動していきます。

問 | 日野振興局 地域振興課 電話 :0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

## 平成 28 年度は “日野川流域の森や水に親しむ活動支援” を拡充します

- 拡充内容**
- ①支援限度額 7万円⇒**10万円** /1 団体 ※会員は 10万円⇒**15万円**
  - ②支援団体数 3 団体⇒**5 団体**

源流の会では、子どもたちや流域に住む方々に、ふるさと日野川の源流と流域の自然環境、そしてこの自然と関わる生活文化を守り育てていくことの大切さを体験を通して理解してもらいたいとの思いから、源流と流域の森や水（水辺）に親しみ学ぶ活動を支援しています。

### 支援対象となる活動

- ・日野川及びその流域の森で行われる、森や水に親しみ学ぶ活動やイベント
- ・親睦やレクリエーションだけでなく、森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動

### 支援対象となる団体

米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO 団体など

### 支援対象となる経費

借上料、資機材購入費、講師謝金・旅費など

### 支援限度額

1 団体当たり 10 万円（会員は 15 万円）

### 申請の方法

支援を希望する団体等は、事業実施の 20 日前までに、申請書に活動計画書を添えて提出してください。（詳細はお問い合わせください。）

### 申請、問い合わせ先

日野川の源流と流域を守る会事務局  
電話 :0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

## キャラクターが大使に

総会では新年度の活動方針として「将来を担う子ども達の積極的な育成」、「日野川流域の素晴らしさを積極的に発信」、「関係団体と連携を深めより良い活動を実施」について拡充して取り組むことを確認しました。

新年度は、15 周年記念事業として様々な取り組みを計画しています。この日は、団体会員のキャラクターである「オッサン ショウオ（日南町）」、「パイロットマン（江府町）」、「バッキン☆マン（米子市水道局）」を、今後、会の活動を盛り上げるために協力してもらう「日野川源流大使」として任命しました。その他にも、源流の碑までの新たな看板整備、イベント時の缶バッジラリー、15 周年記念植樹、子ども達の育成を強化するための源流親子会の新設と多くの記念事業を予定しています。

## 充実した活動を展開

また、日野川流域憲章記念事業として、日野川流域の美しい



日野川源流大使として任命されたキャラクターたち  
(左から、バッキン☆マン、豊島会長、パイロットマン、オッサンショウオ)

写真を集めたフォトコンテスト作品展を大山自然歴史館などで開催するとともに、写真塾を開催してメッセージャーを育成するなど、日野川の素晴らしさを広く発信するために取り組んで